

由良町

こんにちは! 議会です

発行/由良町議会 発行責任者/議長 上野 諭
編集/議会広報編集委員会
〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1
TEL.0738(65)1100 FAX.0738(65)0282

2012.11.1
NO. 96



由良の家計簿

一般会計・特別会計
総額 62 億円

平成23年度

決算認定

平成23年度一般会計 歳入歳出決算内容

歳入 37億2,643万円
歳出 35億9,840万円
1億2,803万円(黒字決算)
*内4,000万円を基金へ繰り入れへ

歳出内容内訳

1 款	議会費	8,400万円
2 款	総務費	4億6,146万円
3 款	民生費	9億5,137万円
4 款	衛生費	5億5,110万円
5 款	農林水産業費	1億9,792万円
6 款	商工費	5,950万円
7 款	土木費	2億 223万円
8 款	消防費	2億 580万円
9 款	教育費	3億8,042万円
10 款	災害復旧費	9,471万円
11 款	公債費	4億 578万円
12 款	諸支出金	411万円
13 款	予備費	0円



「いつまでも お元気で」

監査委員の審査意見

監査委員 神田耕一・馬場博文

平成23年度の決算では、教育施設の整備、公共下水道事業を中心とする都市基盤整備及び漁業集落環境整備、消防、防災対策事業などが実施されており、住みよい町づくりのために積極的に取り組まれている。
第4次由良町総合計画の基本構想に基づき作成された後期基本計画に沿って、住民ニーズを的確に対応した社会資本施策の充実、地域の特色を生かした活力ある町づくりを目指して、限られた財源の有効かつ適切な活用を留意しつつ、より高い行政水準を堅持するために、創意工夫を凝らし取り組まれることを期待する。
また、今後予想される地震等の大規模災害に備え、防災体制・対策の更なる充実強化を検討されたい。

一般会計決算

歳入 37億2,643万円

滞納整理について

町税を滞納されている方には、どのような対応をしているのか？

答 (税務課長) 滞納されている方には、先ず「督促状」を送付し、税金を納入しなければ、「納税注意書」を再送付します。最終的には、「差押予告通知書」を送付します。それでも、当町で対応できない場合は、回収機構へ移管します。あくまでも、公平公正な納税をお願いしています。

23年度においては、電話催告を積極的に行い、滞納者の方と意思疎通が出来るような形を取りました。ちなみに、23年度において、納付誓約件数は約100件で、回収機構への移管件数は10件です。

歳出 35億9,840万円

コミュニティバスの運行状況は？

問 畑・中・門前のコミュニティバスの運行委託料357万円が執行されましたが、運行状況は？

答 (企画政策班長) 23年度の1年間は、テスト運行として始めましたが、結果、合計乗車人数は約500名で、1日のうち誰も乗車しないバスの状況が、何回かありました。
現在、由良小学校へ通学する畑・中の子ども達、最大20名が往復しています。当然の事ですが、飛躍的に利用数が伸びています。
さらに便利が良く、乗ってもらいやすいようなバス運行を考えていかなければと思っています。

町単工場の繰越し要因は？

問 23年度、各地区から要望があった町単工事について予算計上されましたが、そのうち50%近くの4000万円が繰り越されました。繰り越された要因は？

答 (産業建設課長) 昨年9月5日に発生した台風12号による災害などの影響が、町単工事の予算を繰り越した要因です。

答 (町長) その年度に予算化した工事については、年度内に執行するのが基本です。今後、限られた職員の中で、出来るだけ早く年度内に執行するよう担当課に指示しています。

特別会計決算

国民健康保険

歳入 9億4,911万円
歳出 9億4,432万円

問 国保税の軽減措置についての説明を。

答 (税務課長) 世帯全体の所得および世帯の構成人員に応じて、「均等割(個人)」と「平等割(世帯)」について7・5・2割の軽減措置があります。

後期高齢者医療

歳入 1億7,955万円
歳出 1億7,848万円

介護保険

歳入 6億5,365万円
歳出 6億5,302万円

公共下水道事業

歳入 3億9,117万円
歳出 3億8,971万円

漁業集落環境整備事業

歳入 3億6,225万円
歳出 3億5,989万円

水道事業

収入 2億4,594万円
支出 3億6,820万円

一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は4名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。(文面はすべて質問者本人の原稿によるものです。)

町長の5つの基本方針について

果敢に挑戦したい



藤田 富三 議員

問 細中町長の6月議会での所信表明された5つの基本方針を柱に町政運営について

答 (町長) 当地の基幹産業である農業、漁業、商工業が、高齢化や後継者不足など大変厳しい状況にあります。当町は、地産地消の促進という事で農業においては由良早生のブランド化の促進を実施、また、平成20年度に元気ゆらまちづくり協議会を設立し、都市との交流、体験型の農業漁業を旨とし、修学旅行の招へいにも取り組み観光との連携を図り現在に至っています。

また、本年9月から由良町産品販売協議会を設立し、由良町の産品を関西一円で販売は勿論、町のPR等に努めています。それと同時に特に鳥獣害の被害が顕著であり、獣害対策にも積極的に取り組んでいき、平成23年度予算から倍増の形で予算計上し、平成24年度においても、シカ・イノシシ・サルの駆除の奨励・放牧地等の樹木の伐採あるいは里山対策として、いわゆる山際の樹木の伐採を行い、イノシシ・サルが住み着きにくい環境づくりを実施し、農業者の生産意欲の減退にならないように取り組んでいきます。平成21年度からトップセールスという事で、東京の市場等へ採果場の皆さん方とPRに行っています。受け取る市場側の意識として産業と行政が一体となって取り組んでいる姿を見せる事により、産品の消費並びに販売の拡大に努力してもらおう意味においても少し役立ったかなあと思っております。それと同時に生産者においても町がしっかりと応援してきているので、頑張らなければという意識の高揚に繋がると考えています。

また、本年度においては、NPO法人由良わくわく塾並びに由良つくらん会が設立され、地域・人・まちづくり事業としての現在進めているところです。

由良わくわく塾等は、魚のブランド化という形の中で由良の一本釣りのアジ・サバ・イサギ・タイについては市場でも高い評価を頂き、さらに東京の高級和食店にも提供しています。これを今後より多くの人々に知ってもらおうと東京においてPRをして行くような動きが現在ありますので、これらを大事にしていきたいと思っております。それと同時に農業者・漁業者・商工業の方もこの時代で思うように収益も上げられない現状ではありますが、これに勝つことなく、挑戦し、辛抱強く継続していくことが大事です。町としても支援を出せるだけしていきたいと考えています。

また、由良わくわく塾は漢方薬の栽培による耕作放棄地を少なくしていく事業にも取り組んでいます。町行政と共に町民の皆さん方もそれぞれの目標を持って、果敢に挑戦して頂きたいと思っております。

問 白崎海洋公園の今後の管理運営について

答 (町長) 平成25年3月末をもって(財)由良町観光公社を解散し、新たに地域の活性化に繋がるような指定管理制度を導入していく方向で、現在、公募をしています。

問 いじめ問題に関連した学校教育について

答 (教育長) 町内の小中学校のいじめの状況ですが、昨年度は、2件ありましたが、今年度は現在までありません。しかし、いじめは、どの学校でも起こりうる問題であるとの認識のもと、アンケート調査・教育相談の実施等を各学校が取り組んでいるところです。

危険箇所の道路整備を

交通安全に努める対策を検討します



吉田ひとみ 議員

問 数年前から、町内の道路整備が着々と進められ衣奈・小引間が、素晴らしい道路になりました。今後「門前」衣奈トンネル「衣奈」三尾川「の道路整備計画も進んでいる状況は、町民にとって大変有難い事です。

今後の道路整備についてですが、「糸谷地区白崎郵便局付近の狭いカーブ」「釣り公園はぶがた」「江の駒」吹井「網代地区・漁協付近」などの道路拡幅等の交通安全対策を検討願いたいと思っております。

答 (町長) 糸谷地区・郵便局付近の道路については、何年も前から議会でも質問されてきました。今年度、事業費500万円の予算を計上し、用地買収をして屈曲部分だけでも拡幅をします。今後、交通安全に努める対策をしていきます。

神谷地区・釣り公園はぶがた間の屈曲した道路については、区長からの要望を受けており、改良をしなければ事故を起こす可能性もあります。神谷・白崎海洋公園間は、海岸整備事業で歩道整備もしていますので、交通安全対策上の問題箇所の解消を県にはたらかせていきます。

江の駒・吹井間の県道については、平成21年度から予算計上され、本年度も事業費500万円が予算化されています。用地や立木補償に取り組んでいます。出来るだけ目に見えやすい整備を県へ要望していきます。

網代地区内のパラペット高上げた部分によって、行き交う車や自転車が見えづらくなっている事ですが、現在、カーブミラーを設置しています。それぞれが気を付けて運転をして貰う方法以外はないのか、それ以外の対策があるのか検討していきます。

由良小学校の避難場所の検討を

最善の方法を学校とも検討します

問 町長の5つの重点施策の中にある「安全で住みやすい町づくり」を進めていく上でお聞きします。町として、着々と避難場所の設置を進めて頂いていますが、私も由良小学校の避難訓練に参加して感じたことがあります。

現在、門前の興国寺が避難場所に指定され避難訓練が実施されていますが、「小学校裏山」や「中紀バスから江の駒へ向かう農免道路」など避難想定場所を何力所も作っていくべきかと思っております。是非、対策を。

答 (教育長) 距離的には遠い興国寺を避難場所と想定していますが、津波到達想定時間の30〜35分以内に到着でき、避難道路(国道)が一番安全で、一時避難場所としては適切ではないかと考えています。

「指摘の国道から江の駒への避難場所も、臨機応変の判断も行いながら、児童生徒の安全確保のためにも最善の方法を学校とも検討して、避難訓練を実施していきます。

危険なオスプレイの配置撤収を

町村会で反対決議



川出 純 議員

問 オバマ政権と野田内閣は、7月23日、地元山口県知事、岩国市長をはじめ全国の配備反対の声を無視して、山口県岩国市に「オスプレイ」の陸揚げを強行しました。

10月末には、沖縄での本格的な配備・訓練が予定されており、本県でも「オレンジルート」として印南町、日高川町が通過予定されており、「ルート」がずれれば由良町にも侵入する恐れは、十分あります。

危険な「オスプレイ」については、県議会において仁坂知事も反対の意思を表明しました。町長の姿勢は、いかなるものか答弁願います。

答 (町長) 日高郡町村会において、日高地方を低空飛行訓練の飛行ルート、いわゆる「オレンジルート」に設定されている「オスプレイ」の配備計画は、絶対認められないという決議を行い、9月11日に私(日高郡町村会長)の方から日高振興局長に対して「オスプレイ」の飛行訓練の中止について、県を通じて国へ要請していただくよう申し入れをおこないました。

風力発電説明会をどのようにみる

「環境影響評価書」が提出された時点で

問 9月7日に、ジャネットスの「環境影響評価準備書」の説明会では町内外から約100名の方が参加、質疑応答を行い里区民から意見が出ました。

私自身も、また、里地区の方も自然エネルギーとしての風力発電には反対ではありません。

しかし、里地区の方の心配は、住宅地に近いということですが、

町長は、町民の不安があると意見すべきではないのか?

答 (町長) いわゆる地域の住民の皆さん方のその環境に関する危惧ということについては、「環境影響評価書」が提出された時点で、意見というのは申し述べていかなければと思っております。

風力発電の低周波被害

冷静な対応をお願いしたい



由良 守生 議員

問 風力発電の低周波の影響によって、苦しんでいる人々がいます。「耳が痛い、ジンジンする、頭が痛い、首が痛い、仕事にならない」等々の症状に苦しんでいます。

水俣病やアスベスト公害も当初、原因が分からないという被害者を苦しめました。低周波との関連が不明であるといっても、現実には多くの人々が苦しみ救済を求めています。

風力発電の運転を止めてほしい。また、由良町の南側に連なる山々の頂きに、たくさん風力発電施設の建設が計画されています。

これだけ多くの被害者が苦しんでいるのに、信じられない事態です。地域の人々は、ほとんど建設反対です。署名を集めて、建設計画反対の要望書を提出しています。

由良町として、どう対応するのか?

答 (町長) 低周波による関連は、分かりません。訴える症状が、いわゆる風力発電の低周波と結びつけるのは、通常の考えからいけば難しい。

新たに計画される風力発電施設については、住民の同意のもと設置しなければなりません。今の時点で私が、どうこう言えることではありません。

低周波以外に騒音が出る。どこまで辛抱してもらえるか、どこまで対策として、それらを下げる努力をしようかについて、区の役員等と事業者で協議を進めています。

環境基準等を勘案しながら、お互いの目的のために協力すべきところは協力し、再生エネルギー電気の問題に対処していかなければなりません。

極端な考え方は、いかがかと思う。冷静な対応をお願いしたい。

平成24年 9月定例会 9月11日~21日

平成24年度一般会計補正予算 「保育所関連」を中心に!!

5600万円追加

総額37億2200万円に

統合保育所関連事業

旧畑小学校校舎解体工事にかかる金額
5846万円
(統合保育所予定地)

保育所統合について全員協議会を開催

説明 (副町長) 保育所統合については、平成26年4月に統合予定で進めています。運営方法は、公設民営で行い認定こども園で考えておりますが詳しい内容については、今後の課題となっております。

統合保育所については、施設整備として6月議会で3100万円余で新築設計業務地盤調査等の発注をしています。9月議会では、旧畑小の校舎解体工事等として5546万円の補正をお願いしています。

今年度中に解体を行い、本体建設工事に取り掛かり、26年3月を完成予定で進めています。

保育の基本的な考え方は、児童数に応じた必要面積を取り0歳児保育も含めて考えます。

また、白崎会館に変わる防災の拠点として、プールの跡地は駐車場として考えています。

問 畑地区へ保育所が移転すると、送迎が増えると思う。地図上で見ても、乗降場所がとれるかが心配。駐車場問題も検討しなければならない問題とと思うが?

答 (副町長) 園児の安全な方法として、6mから8mぐらい間口を開けループで一方通行で検討しています。

問 公設民営化の進みかいは、どのようになっているのか?

答 (副町長) 少子化状況の中で、指定管理費等も含め、諸条件が整った法人があるかどうか調査検討しています。

防災行政無線関係

防災士の免許奨励の考えはあるのか?
331万円

問 (町長) 自主防災組織等に啓発をしていきたい。

答 ジェイアラートの無線の不備に対する対応対策はどうなっているのか?

問 (財政班長) パスワードの設定等不備がありました。今は復旧しています。

答 防災行政無線は、聞こえづらいという苦情があるが、今後の対応はどうしていくのか?

問 (参事) 聞こえづらい場所については、要望があれば調査をした上で個別受信機を付けるかどうかを検討していきます。

答 個別受信機を高齢者やまた全世帯に付けるという事は考えられないのか?

問 (参事) いまのところ、そういう事は考えておりません。

答 ジェイアラートとは?

全国瞬時警報システム(通信衛星) 市町村の同報系防災行政無線を利用して緊急情報を住民に瞬時に伝達するシステム



農政業務支援事業

240万円

果樹産地づくりステップアップ支援事業補助金

10万円

漁業振興事業補助金

465万円

災害関連

緊急対策事業 500万円

人件費減額補正

▲1367万円



健康増進にペタンク

国保会計(800万円追加)
歳入歳出10億1500万円に

医療対策関連補正 198万円

問 人間ドック受診は今回、40才以上だったが今後、若い世代にも普及するべきではないか?

答 (住民福祉課長) 今回初めて、国民健康保険で人間ドックを実施しました。本年度は、初めてなので40才以上とさせていただきます。

編集後記

今回の表紙の写真は、衣奈八幡神社の祭礼風景です。今年は、5年ぶりの「唐船(とぶね)」が祭りを盛り上げました。

神功皇后の伝承を由来に持つ衣奈八幡の秋祭りは、衣奈・白崎地区から神事や余興が奉納され、巫女舞や唐船を含む祭りが、県指定の無形民俗文化財です。

宇佐八幡神社の秋祭りを子どもの頃から見続けていた私は、初めて見た時、歴史を感じ、とても優雅な祭りだなと実感しました。(玉)

- 議会広報編集委員会
- 委員長 神田 勉
 - 副委員長 吉田ひとみ
 - 委員 由良 守生
 - 山名 実
 - 中村 森
 - 馬場 博文
 - 玉置 一郎

第19回 ふれあいウォークラリー大会へ つれもていこら!



昨年のウォークラリー大会風景

来たる11月25日(日)場所は、衣奈地区で開催されます。

例年、たくさんチームが参加して頂き県下でも「一」を争う大会になっています。

由良町の自然や文化にふれあいながら友だち同士や家族での参加をしませんか?

「ゆーRecでべその会」の皆さんが、美味しいカレーもふるまってくれます。今年も昨年に引き続き、「紀の国わかやま国体」のデモンストレーション事業です。

皆さんつれもていこら!

●詳しい問い合わせは「教育委員会」 TEL 65-1800 まで